

I 教育目標	
<p>人間尊重の精神を基調に、新しい時代の変化に主体的に対応し、知・徳・体・食のバランスの取れた児童の育成を目指す。</p> <p>◎進んで学び考える子…学習習慣を身に付け、主体性をもって対話を通して学ぶ態度と考える力を育てる。</p> <p>○互いに認め合い、思いやりのある子…自他の生命や人格を尊び、他人を思いやる、助け合う等の豊かな心を育てる。</p> <p>○最後までやりぬき、たくましく生きる子…最後まで粘り強く取り組む強い心や健康づくりに努める態度を育てる。</p>	

II 経営方針	
目指す学校像	<p>○学力が身に付く学校 《知》</p> <p>○思いやりの心が育つ学校《徳》</p> <p>○体力、忍耐力が育つ学校《体》</p> <p>○食育を通して健康な体を作る学校《食》⇒みんなの個性輝く学び舎へ</p>
目指す児童像	<p>○学習習慣・学習規律を身に付け、主体的に学習に取り組む児童</p> <p>○自他を大切にし、思いやりのある心温かい児童</p> <p>○心身ともに健康でたくましく生き抜く児童</p> <p>○好き嫌いをせず給食を食べる児童</p>
目指す教師像	<p>○確かな学力を身に付けられる授業力の高い教師（児童が満足する授業の実施）</p> <p>○こどもの心を成長させることができる人間味あふれる教師</p> <p>○こどもの体力、精神力を鍛えることができ、毅然とした指導ができる教師</p> <p>⇒共に高め合い、共感（共汗）し合う教員集団へ</p>
経営理念	<p>66年の歴史と伝統によって培われた校風を継承しつつ、こども一人一人の「夢」や「生きる力」を育み、こどもの笑顔があふれる楽しい学校づくりに全力を注ぐ。</p> <p>こどもが大切にされ、学ぶ意欲に満ちた楽しい教育活動を教職員・保護者・地域社会が一体となって推進し、こどもにとって「学びがいのある学校」、教職員にとって「働きがいと教えがいのある学校」、保護者・地域にとって「協力しがいのある学校」を目指す。</p> <p>コミュニティスクール先進校として、地域を支える学校として地域のみならず、江東区内の学校園へ発信していく学校に成長できるようにする。</p> <p>(1) 児童の豊かな学びを大切にし、「確かな学力（かしこく）」と「豊かな人間性（やさしく）」、「たくましい心と体（たくましく）」の育成を図る。</p> <p>(2) 全教職員が一丸となって教育・人材育成に取り組む経営を行う。</p> <p>(3) 開校66周年を迎え、児童に歴史と伝統に育まれた学校への愛校心を育てる。</p> <p>(4) コミュニティスクールとして、地域学校協働本部をはじめとする外部人材や地域人材を積極的に活用するとともに、地域の自然や施設を組織的計画的に生かした経営を行う。</p>

III 経営目標		
重点領域1	確かな学力の向上（児童が満足する授業の展開）	
中期経営目標	基礎的・基本的内容の定着を図り、思考力・判断力・表現力等を育成する。	
短期経営目標	学習指導要領のねらいを踏まえ、教科等を通して、主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善を図る。「こうとう学び方スタンダード・枝川版（学習編）」における学習規律の徹底、読書習慣の定着、タブレットパソコンなどICT機器の活用や少人数指導による基礎学力の定着、「家庭学習」の定着による学習習慣の確立を図る。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	毎月スタンダード重点週間を設定し、「江東学び方スタンダード・枝川版（学習編）」を徹底する。	「スタンダード・枝川版（学習編）」を身に付けている児童85%以上となる。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・「枝川タイム」「朝学習」の充実により、各スタンダードや基礎学力の定着を図る。 ・読書記録や読書活動・読書習慣の確立を図る。 ・毎日ICTを効果的に活用することを通して、主体的な学習のスタイルを身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「国語・算数・英語スタンダード」を身に付けている児童が90%以上となる。 ・読書が好きな児童が85%、各学年の年間目標冊数を達成ができる児童が85%以上となる。 ・主体的に学習に取り組む児童が85%以上となる。
3	家庭学習の基本方針を示し、学年に応じ、意図的・計画的に学習課題を出すことを通して、基礎学力と学習習慣の確立を図る。	低学年は20分以上、3年生以上は学年×10分以上の家庭学習をする児童が90%以上となる。

重点領域 2		豊かな人間性と思いやりの心の育成
中期経営目標	自他の生命と人格を尊重し、互いに認め合うことができる思いやりの心を育成する。	
短期経営目標	礼儀正しく・気持ちのよいあいさつができる子を育てる。「こうとう学びスタンダード枝川版（生活編）」における生活規律の徹底と児童への定着を目指す。仲よし学級や幼稚園等との協同活動や異学年交流活動を実施し、思いやりのある児童を育てる。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	「挨拶運動」等により学校内外を問わず、礼儀正しく気持ちのよい挨拶をする児童を育てる。	学校内外を問わず、自ら進んで挨拶をする児童が90%以上となる。
2	毎日の生活・授業を通して「こうとう学びスタンダード枝川版（生活編）」の徹底を図る。	「こうとう学びスタンダード枝川版（生活編）」を身に付けている児童が90%以上となる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・仲よし学級や幼稚園との定期的交流を実施するとともに、異学年交流を毎月実施する。 ・情報共有・共通実践により、いじめ、不登校の未然防止、早期発見・対応を図るとともに、組織的対応を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な交流等により、互いのよさを認め合えるような感想をもつことができる児童が90%以上になる。 ・いじめの解消率100%、不登校が昨年の1/3になる。

重点領域 3		たくましく生きるための健康・体力の育成
中期経営目標	健康の保持増進への意識を高めるとともに、体力・運動能力の向上と運動習慣の定着を図る。	
短期経営目標	外遊びの推奨、食育を含めた健康教育の推進による生活習慣の改善と健康の保持増進への意識を高める。体育の授業改善や体育関連の取組・行事を通しての体力・運動能力の向上を図る。さらに、家庭との連携による運動の習慣化を図る。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	健康タイム「体力スタンダード枝川版」を計画的に活用するとともに、体力・運動能力テストの結果を分析したことに基づいた体育の授業改善を図る	体力・運動能力テストの結果が前年と同等もしくは上回る児童が80%以上増える。
2	外遊びの推進、「長なわチャレンジ」「持久走」等の計画的実施により運動への興味・関心を高め、運動の習慣化を図る。	「運動が好き」な児童が85%以上となる。毎日外遊びをする児童が85%以上となる。
3	給食指導と連動した食育の推進、養護教諭等による健康教育、長期休業明けの「ハッピー貯金」の取組による基本的な生活習慣の定着を図る。	睡眠時間が8時間以上の児童、アウトメディアや健康の保持増進への意識が高い児童が90%以上、朝食摂食率が90%以上となる。

重点領域 4		地域や保護者と一体となったコミュニティスクールの更なる推進
中期経営目標	学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の更なる活性化を行い、社会に開かれた学校づくりを推進する。外部人材等の活用による教育の充実を図る。	

短期経営目標	学校運営協議会制度を活用し、「みんなの個性輝く学び舎！」を推進する。学校だより、HPの更新、コミュニティ・スクールの議事録等、計画的な外部への情報発信による学校理解を促進する。地域の外部人材の活用や地域との連携を更に進める。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	学校経営方針やHPの定期的な更新、学校運営協議会の年5回実施及び議事録の掲載、保護者アンケートの実施と結果公表を行う。	学校評価における保護者アンケートで「学校の様子がよくわかる」の項目が85%以上とする。 学校評価における児童アンケートで「学校の行事や活動に進んで参加している」の項目が80%以上とする。
2	各学年年間3回以上の地域学習を計画的に実施し、地域理解を高め、愛校心を育てる。	地域に誇りをもち、学校や郷土を愛する児童が80%以上いる。
3	保護者や外部人材を活用した授業を積極的に実施し、年間100人以上の人材が教育活動に関わるようにする。	保護者や外部人材の活用によりねらいを達成できた児童が90%以上とする。